

# 知的生産の技術6 991115

先生の自分史を読んでみておもしろかった。熱意が伝わってきた

## タイプ1

今の時点から考えると考えられるテーマとしたら「新しさ」だと思う

先生も、ここまでくる間、遠回りをしてきたことを聞いて少し安心した  
今できること、やりたいことを優先したい

過去自分の歩みから将来の自分、テーマが見つかるのか今日再び疑問に思うようになってきたあやふやなままでも先にすすんでいきぶつかっていくことで“なんとなく”わかってくるものなのではないかずっと自分が看護に従事することに？を抱きつづけてきたのが自分に向く職業かもしれないと知り“自分に向かない”と思いつづけたこの数年は何だったのか、と疑問に思った

多くの経験・体験を積み重ねるほど人は成長する私もそのような経験をこれからしていきたい

## タイプ2

職業・自由時間のプリントは、すごく自分の思っていることにあっていて驚いた。今は思いきり悩んで、一番いいと思われる答えを見つけない

自分の道は自分で決めていきたいと思う

就職に関して「何になるか、なりたいかよりもなって何をやるかのほうが大切」という言葉がためになった

今日の講義は納得することが多かった  
とりあえず今やれることを一生懸命やってみようと思いました

自由時間は当たってるなあと思った自由時間には“（もしあるなら）”というのが気になった。どういうことでしょうか

## タイプ3

将来何をしたいのかとかも自分史によって発見したいと思った

自分の意見がない状態何か自分を見つけるためのものをしたい

セルフマネジメントをする必要性が分かった

ゲストの方がこられないということになって残念でした性格タイプで職業の適正がわかるということも驚きでした

自分史の基盤のほぼすべてが集まってきた早く自分史を完成させたい

(高校時代から)まだ一年しか経っていないことも不思議な感じがする

この(高校)時期くらいからだんだん今の私の土台が形作られてきた

「人生には喜びの二倍苦しみがある」という言葉を思い出した

## タイプ4

テーマはその都度変わるものでそれはいつも自分に影響を与えるものなのだと思います

先生の遍歴を聞いて図解などの技術が生まれるまでの行程が少し分かって嬉しかった

# 知的生産の技術6 991115

いつも自分を見つめ考えて、日々チャレンジしている自分に見切りをつけなければ、どんどん成長するんだと思った先週、自分の目標を紙に書いて持ち歩いている人は成功しているという話を聞いて、その日の夜から次の日にやることを紙に書いて一日を送るようになった。4日間やってみてとても充実した一日を送れた。木曜の夜に予定をたてず一日を送ったら以前のだらけた生活に逆戻りした。今日は週の初めの月曜日なのでもう一度予定を書く習慣を取り戻そう

## タイプ4

先生の自分史を  
読んだ  
おもしろかった

自分の中で目標が何度変わっていて  
良くないことなのかと思っていたけど  
先生の話聞いて成長したんだなと思った  
その時その時を一生懸命に生きれば  
いいんだなと思って安心した  
職業・自由時間は「まさに！！」という  
感じだった。なんかおもしろい

よく  
やめなかったな  
と思う

先生の「人生テーマ」についての  
お話がすごい印象に残った

私もいろんな方向に  
目を向けてみようと思う

能率手帳を買いました  
でも使えるのが  
12月の後半からなので  
とっても残念です

夢が変わっていくのは  
よく分かる  
現実を考えてしまうと  
夢がどんどん変わる

高校時代は  
思い出したくないことが  
多いのかもしれない

「たいしたことじゃなくても掘り下げれば  
世の中につながっていく」という  
先生の言葉が印象的でした

私がこの高校にいなかったら  
たぶん違う自分がいたと思う

プリントが面白そうなので  
家でじっくり読んでみようと思う

毎回、両親の生き方や教育方針についての  
ところが書けない。自分が今までそういうことを  
考えたことがなかったからかもしれない

どんな時でも「楽しみ」を見出せれば  
人生そんな捨てたもんじゃないのにな

先生の目指した職業が様々  
あったことには驚きました

もっと強烈な生活を  
送ろうと思います

## タイプ5

よくわからない人生  
(半生?)を送った人が  
結構いるような気がする

先生のように仕事を変えながら  
生きるのもいいなと思った  
そうやって人間成長していかないと  
自分というのを見失いそうな気がした  
私も色々なことを経験して大きくなりたい

先生の職業遍歴を聞いて  
その多様さに驚いた

前列に学生が着席しない要因  
前方の席は教団と学生の距離が近く  
一方的な印象をさらに強く受ける

# 知的生産の技術6 991115

先生の大学時代の  
自分史は面白かった

タイムプランニングについて  
もう一度考えるようになりました

一生同じ職業を  
通さなくても  
いいと分かった

今は、自分のなりたい職業は  
あいまいだけど、なりたいと思って  
それに就くことは案外少ないものだと思う  
自分の生活をAランクAタイムに  
出来るようになりたいと思う

自分史を書くことに  
何の役にも立たなそうで  
悲しいです

ゲストの方がこれなくて残念だった  
先生のテーマの変化が興味深かった

タイプ6

意外にも、若干ではあるが  
Aタイム Aランクを実行している  
らしいということがわかった

やはり誰も平坦な人生はないと思った  
その一見遠回りと思われることが  
実は自分の中に大きな影響を与え  
自分を成長させてくれるのだと思った  
旅行というもので多くのことを考え学ぶことが  
できた先生をうらやましいと思った

何をしたいのかが  
わからなくなりました  
早く目標を作って  
頑張れる人  
になりたいと思いました

ちょっと今回の話は  
理解しづらかった

先生はまさに  
タイプ6なんですね

周りの人と高校の話で盛り上がった  
地域性もあって面白かった

先生はよく将来の夢が  
変わっていたようですが  
不思議に思います  
私はどんな経験があっても夢は  
中学の時から変わっていません  
他大学の友達の話によると  
このような授業はないらしく  
宮城大に入って良かったなあと  
改めて感じました

職業・自由時間』についてのプリントは  
当たっているとは思いますが  
やっぱり私のなりたい職業とは  
違うタイプのものばかりでがっかりした

その時その時を  
一生懸命頑張ることが  
将来につながる

思い出していく過程でどんどん  
自分を発見できた気がした  
今は時間は無限にあるような  
錯覚に陥っているように思う

現在の自分からは想像できないほど  
つまらない高校時代だった

先生の人生経歴を聞いて  
おもしろかったです

もっと時間を大切に  
使えるように  
なりたいと思った

10年後の自分は、いったい何をしているのか  
自分の時間の捉え方や考え方が少しずつ  
変化してきていることに気づく

久恒先生の自分史を  
見て面白かった

実際に体験して自分に  
あっているものを探すのは  
一番いい手段だと思った

タイプ7

先生の目指していた職業が  
ぴったり性格タイプに  
当てはまっていて驚いた  
しかし自分のタイプには  
当てはまらない気がする  
まだ、自分の知らない  
部分があるのだと感じた

# 知的生産の技術6 991115

紙には書ききれないほどの  
思い出がよみがえってきた

先週出れなくてとても悔しいです  
アンケートを読んでまた後悔

今を生きることの大切さを改めて感じた  
日々、新しい気持ちで生活しているような  
気がする。あらゆることに興味が沸き  
自分のやりたいことが見つけられそうな  
気がして楽しい。今、そういう気分  
になれていることがとても嬉しい

先生の学生時代のお話は  
今の私にとって道しるべとなるような  
とても興味深いものでした

大学生活で  
本当の勉強を  
してみたいとも  
思った

タイプ7

私も小さい頃から  
将来の夢がころころ  
変わっている

今になって「ああ、あの時...」と思ってしまう  
自分史がとても恐くなってきました

AタイムにAランクの仕事をしたら  
時間も増え、とてもよかった

先生の話の中には  
いつも著名な方が出てきます  
多彩な人脈はどういう風に  
そんなきっかけでできるのですか？  
先生にとって人脈はなぜ  
とても大きな価値なのですか？

AタイムにAランクの仕事をする  
ことを頭にに入れてすごしたいです

受験を機会に多くのものを  
失ってしまったような気がする  
自分の中に沢山の異なる思想が  
混沌としていたような気がする

いろいろなことが次々と浮かんできて  
楽しいような、少し寂しいような  
不思議な気持ちになりました

先生の自分史をもっと見たいです

先生が大学の時「話す」ということを  
あまりしなかった理由  
(結局、誰かの意見だから)を聞いて  
自分にも照らし合わせてみた  
「~になって、こういうことをしたい」と  
言う人はあまりいない  
そこが大事だと思った

恋愛については  
あまり思い出し  
たくなかった

ほのぼのと  
してしまっ

僕らはAタイムにCランクを  
行っていることが多い

タイプ9

先生は幅広い方向から  
物事を考えることがで  
きているのだろうと思った

自分にとっての日ごろにおいて  
Aランクというものをいかに  
時分の頭で整理しているか  
もう一度考えさせられた  
先生の話聞いて  
やっぱり自分にあつ職業というのに  
出会うのは難しそうだった

先生にもでこぼこな人生が  
ついてたんだなあと思った  
高校の時に日記をつけていたから  
今日帰ったら見てみようと思う

将来なりたいと思うものが  
変わっていくのは  
まだ自分の中にはない

そのほか